令和5年度 事業報告書

社会福祉法人 報徳福祉会 さ つ き 保 育 園

事業の概要

令和5年5月に、新型コロナウイルス感染症の分類が2類から5類に移行し、園運営に関しても落ち着きを取り戻した | 年となった。これまで数年続いた「ウィズコロナ」の生活によって気付けたもの、新たに取り入れたもの、整理出来たものを継続させながら、余計な制限を設けることなくノビノビと日々の生活に取り組む事が出来た。

行事に関しても、運動会の種目見直し、クリスマス会の二部開催、成長展の分散開催 等、変更によって改善が見られたものに関しては引き継ぎ、給食試食や会食会等、制限 を設けていたものに関しては従来の形に戻す事が出来た。更に、保育参加を春と秋の二 回実施する事で、より保護者の園理解を深めて貰い、意見を引き出す機会が増えたので、 子ども達の利益をより追い求めやすくなった。

保育では、I歳児のコーナー改善や園庭砂場の補充、玩具の購入等を行い、児童処遇の改善に努めてきた。職員配置についても、引き続き増員を図り、個々の子ども達の安全・安心を確保する事が出来た。また、LINE WORKS を導入し、常勤職員以外の様々な時間帯のアシスタント職員も含めて、園全体として共通認識を確認し、子ども理解の素地を養えるように努めた。

職員の研修においては、引き続き各団体がオンライン研修を実施した事により、より参加しやすい環境が整っていた。キャリアアップ研修をはじめとして、多くの研修に参加し、学びを深める事が出来た。加えて後半は、LINE WORKS による伝達方法の一本化も図れたため、会議等の報告の手間が整理され、月末会議等で園内研修(語り合い)を実施する機会が大幅に増えた。

職員の途中退職が多く、人員確保に苦労した一年でもあった。入れ替わりが激しいこのタイミングを好機と捉え、「子どもへのリスペクト」に立ち返った保育を提供出来るように、職員一同で団結して邁進していきたい。

1. 施設事業運営

(1) 各月入所児童数

R6.3.31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
O歳児	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
1 歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
2歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
3歳児	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
4歳児	22	22	21	22	22	22	22	22	22	22	22	22
5歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	23	23	23	23
合 計	109	110	109	110	110	110	110	110	109	109	109	109

ア. 健康管理

月/日	項目	費用	備考
4/5	内科健診(新入園児)	31,130	健診の結果をプリントで配付
5/17	内科健診(全園児)	103,700	健診の結果をプリントで配付
6/15	歯科健診(2~5歳児)	50,000	健診の結果をプリントで配付
10/4	内科健診(全園児)	103,700	健診の結果をプリントで報告
定期	0 歳児健診	280,170	診断の結果を連絡帳で報告 31,130×9ヶ月
	身長体重測定		測定の結果を連絡帳で報告
合計		568,700	

*健診・検査・測定結果は別紙

イ. 栄養管理

保健所の指導のもと、給食・おやつについて充分な栄養管理を行い、 アンケート等で家庭からの意見も受け入れた。また、給食だよりで、家 庭における栄養管理も指導した。コロナ禍で出来ていなかった春の保育 参加における給食試食についても、久し振りに実施する事が出来た。

また、月 | 回給食会議を開き、献立内容・指導方針・衛生面等について意見交換を行った。その際、事前に各クラスに配付したアンケート用紙を用い、毎日の食べ具合・味付け・分量など、次回の献立作成の参考にした。

栄養士・調理員が順に各クラスに足を運ぶ事で、子ども達の給食状況

を把握し、食事指導等も行った。

《給食計画》

毎日、午前 I I 時 I 5分頃より、各クラスにて手作りの給食を食べた。アレルギー対応として、専用トレーの使用と食器等の色別、ダブルチェックの徹底により、誤食を防いだ。

月 I 回の誕生会メニューやリクエストメニュー、行事メニューを通して、子ども同士の繋がりを深めた。また、クリスマス会食会では、ホールにて4・5歳児が会食会を楽しんだ。

地産地消にも積極的に取り組み、毎月市内の生産者や商店から食材を仕入れ、 給食に取り入れ、保護者にも情報提供をした。

別紙、食育計画(年間予定表)に基づいて、給食のお手伝いなどを行い、食材に親しみ、食べ物の大切さを感じるなど、食に関わる体験を積み重ねた。

《指導方針》

必要な栄養を摂取しながら、友達と一緒に楽しく食べると共に、食事のマナーを学び、好ましい食習慣を身につけるよう指導した。

近年、子ども達の食を取り巻く環境が変化する中で、乳幼児期から、食を通じて子ども達の健全育成を図る為に、「食を営む力」を育む「食育」を推進した。

ウ. 保育

《保育理念》 生き生きとした子ども達の"め"を大切に…

《保育方針》 保育園は、家庭を離れる時間が長い乳幼児を保育することを目的と する。子ども達が安心して落ち着いて生活出来る場を作り、その生活 の中で、一人ひとりの子ども達の成長発達に良い影響を及ぼすよう、 充実した意味ある生活を経験させていく。

《保育目標》 体と心と知能、子どもとしてのバランスのとれた成長を目指す

- 1. 健康で丈夫な子
- 2. 見分けられ、聞き分けられ、考えられ、創り出せる子
- 3. 自分を大切にし、友だちを大切にする子
- 4. 豊かな表現の出来る子

《保育計画》 全体的な計画、年案・月案・週案は別紙

《行事計画》 年間行事報告書は別紙

工。安全管理

日本スポーツ振興センターに加入 保育園賠償責任保険に加入

(2) 職員の処遇

ア. 職員構成

R6.3.3 I 現在

園長	1名	アシスタント保育士	8名
副園長	l 名	アシスタント看護師	l 名
事務長 1名		保育アシスタント	13名
主任保育士	1名	調理アシスタント	2名
保育士	14名	嘱託医(内科)	l 名
看護師	1名	〃 (歯科)	l 名
栄養士	2名		
調理員	l 名		
用務員	1名		

イ. 健康管理

月/日	項目	費用	備考
希望日 (9/22)	生活習慣病予防健診	92,093	希望者実施 2 名
11/16	健康診断及び 胸部エックス線検診	49,050	生活習慣病予防健診受診者を除く I I 名
11/8	インフルエンザ予防接種	142,000	希望者実施 4,000 円×33名 2,500 円×4名
定期	腸内細菌検査	73,373	調理担当、乳児担当実施 319円×該当者×12ヶ月
合計		356,516	

*検査・検診結果は別紙

ウ. 職務分担

職務分担表は別紙

工. 職員会議

毎週水曜日の午睡時間には各クラス | 名の昼会議、月末には午後4時 | 5分から全体会議を行った。行事の計画、反省等を行い、より充実を図った。また、係から職務においての提案を行い、より良い環境の中で

の保育を推進した。

日常保育についての意見交換・情報交換を行い、研修発表等を通して 保育の質の向上を目指した。

* 会議内容は職員会議録に記録

才. 福利厚生

コロナ禍以降、久し振りとなる店舗での食事会を開いた。7月にはフレンド会、12月には忘年会を行い、職員間の親睦を深めた。3月の歓送迎会では、退職者と新任者も含めて一堂に集い、執り行う事が出来た。八王子市私立保育協会のボウリング大会や民踊流しは今年度も中止となった。

力. 研修報告

別紙

(3) 保護者

ア. 個人面談

新入園児は3月、進級児は4月に個人面談を行った。家庭での子どもの様子や家庭環境などを聞き、進級児については園での子どもの様子も伝えながら、保護者との共通理解を図り、信頼関係を深めた。 また、2月には希望者の第2回個人面談を行った。

イ. 保護者会

2階遊戯室又は一時保育室にて、年間目標や I 年の流れ、クラスや子どもたちの様子などを伝えた。また、事前にアンケートを取る等して、相互の交流となるように努めた。

ウ. 保育参観・試食会

5月末から6月にかけての4週間、保育参加を実施し、保護者にはより主体的に保育に関わって貰い、保育への理解と協力の促進を図った。合わせて給食試食も行い、普段子ども達が食べているメニューを一緒に楽しむ事で、食材や栄養管理についての理解を深めて貰う事が出来た。5月には新江ノ島水族館にて親子遠足、2月には親子レク大会を実施し、相互交流を図った。

エ. おたより

行事にはプリントを配付し、協力・参加を促した。

(運動会、クリスマス会、成長展など)

また、個人の連絡帳で乳児は毎日、幼児は必要に応じて園生活の様子 を知らせ、家庭での様子も知らせて貰う事で、園と家庭との連絡を密に し、相互理解を深めた。

2. 施設事業管理

(1) 事務関係

ア. 児童処遇事務

園だよりを月 I 回発行し、期末毎にはクラスだより・保健だより・給食だよりを、また随時さつきだよりを発行することにより、園の行事、様子、方針などを知らせ、理解を深めた。

(2) 設備関係

ア. 園舎等の補修

工 事 名	費用	業者
倉庫塗装工事	950,000	水越ハウジング
テラス(チャイルドコート)修繕	412,500	(株)チャイルド社
I 歳児保育室腰壁修理	20,000	さくら西多摩

イ. 備品の補修

修 理 品 名	費用	業者
遊戯室エアコン修理	57,090	三菱電機システムサービス
スチームコンベクション修理	45,100	国立厨房サービス(株)
正門横引戸シリンダー調整	27,500	たなべ物産(株)
ワイヤレスマイク修理	20,900	(有)相模共栄

(3) 備品関係

ア. 備品購入

品 名	費用	購 入 先
ラベルライター テプラ	18,700	(株)ムサシ
スチールロッカー(Sタイプ・6人用)	73,060	(株)ムサシ
ワイヤレスマイク	37,180	(有)相模共栄

イ. 保育用品購入

品 名	費用	購 入 先
ザイロホーン(鉄琴・スタンド)×2	114,840	(株)ムサシ
砂場シート	29,000	(株)吉澤
かるかる4連マット	41,800	(株)ジャクエツ

ウ. 給食関係購入

品 名	費用	購 入 先

工. 固定資産物品購入

品 名	費用	購 入 先
I 歳児保育室パーテーション遊具 (アネビー)	3,030,720	(株)ムサシ
ゲート付きロッカー(リトルパロ)	211,200	(株)ムサシ
見守りカメラー式	2,170,850	(株)ムサシ

(4)災害対策

ア. 避難消火訓練

避難消火訓練実施表は別紙

イ. 防災設備の保安点検

火災報知器、消火器などの定期点検を行った。(相模共栄に依頼) 自主検査を定期的に行った。(点検簿に記載)

ウ. 防災用設備

新規購入なし

(5) 地域社会との関連

近年、住民意識の変化により、地域全体で福祉を支えようとする試みが次第に芽生えてきた。それにともない保育園も、地域の中に溶け込み統合されていく時、最もその力を発揮すると考えられる。保育園は個々の家庭のニーズに応えるだけでなく、子どもの生活の場である近隣社会を生き生きと豊かに楽しいものにするため、地域の一部として開かれた保育園を目指し、その敷居を出来るだけ低くする配慮をした。

3月には地域の子育て家庭を園に招き、離乳食講座を実施した。

(6) 会計収支予算書・収支決算書は別紙